

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 新型コロナウイルス感染症が菌血症に与えた影響について

[研究責任者] 感染対策室 辻 健史

[研究の背景]

菌血症は、感染症のなかでも重症となりやすい疾患です。感染症診療を行っていく上では、菌血症の起炎菌を予測しながら治療することになります。患者さんを診療し、菌血症が予測される場合、どのような菌がどの程度の割合で検出されるのかは抗菌薬選択において重要な情報となります。

[研究の目的]

今回、新型コロナウイルス感染症流行下において、菌血症の動向を調べることで、感染症診療、抗菌薬の選択に良い影響を与えることができるため、検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院救急外来を受診された患者さんで、西暦 2016 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 12 月 31 日の間に血液培養の検査を受けた方

●研究期間:西暦 2021 年 3 月 25 日から西暦 2022 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報:

診断名、年齢、性別、血液培養検査結果。

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。



[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

感染対策室 辻 健史

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913